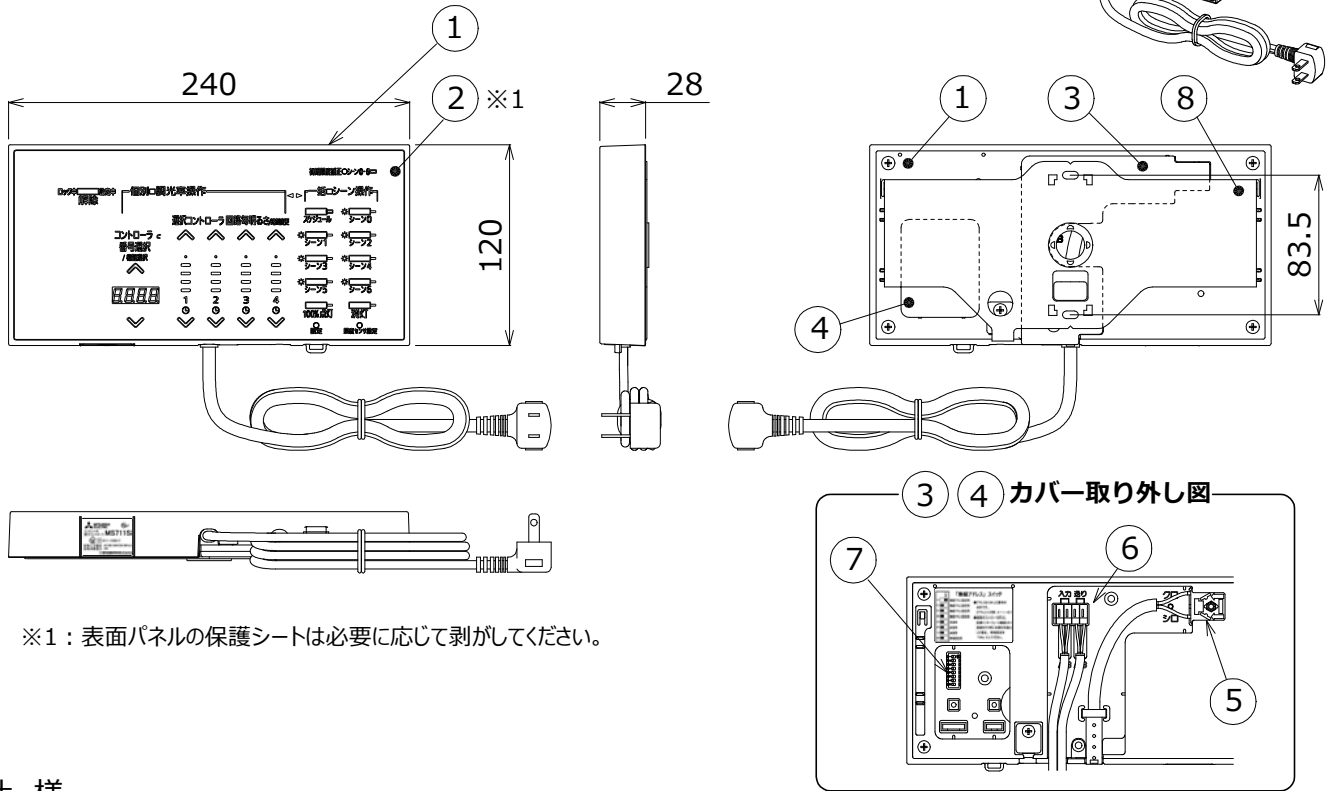


MILCO.S ワイヤレスタイプ コンセント式壁付コントローラ
 MILCO.S ワイヤレスタイプ適合照明器具を制御するコントローラです。



※1：表面パネルの保護シートは必要に応じて剥がしてください。

仕 様

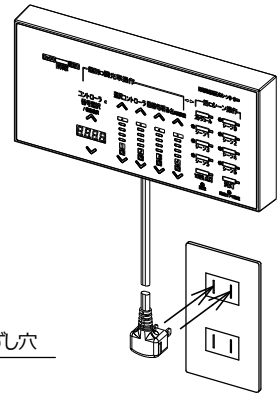
項目	仕様
電源電圧、定格周波数	AC100V-200V、50Hz/60Hz（付属電源コードを使用する場合はAC100V専用）
使用環境	温度：5～35℃、湿度：85%RH以下（結露しないこと）
使用場所	屋内、壁取付（取付板使用） （但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所）
無線通信仕様	920MHz帯 特定小電力無線(ARIB STD-T108準拠)
照明器具制御範囲	Myシリーズ、天井高さ 2～6m以内の場合 表面パネル側：30m以内、左右：各40m GTシリーズ、天井高さ 6～15m以内の場合 表面パネル側：20m以内、左右：各15m 無線調光ユニットが搭載されているMILCO.Sワイヤレスタイプ適合照明器具
調光範囲	調光率5～100%及び消灯（調光率0%） 調光範囲については接続される適合照明器具により異なります。
赤外線通信仕様	搬送周波数：38kHz PPM変換方式 家製協フォーマット準拠、通信距離 1m以内
コントローラ間通信仕様	RS-485（半二重） 115.2kbps（バイト長：8bit、パリティ：なし、ストップビット：1bit）
コントローラ接続台数	最大10台（アドレス1～10）
設備インターフェース 接続台数	最大5台（アドレス11～15）
電源コード長	1.8m
時計バックアップ時間（目安）	1週間（初期状態）但し、温度環境や設置年数によって時間が短くなりますので、 停電時にコントローラ時計確認をして、コントローラ時計合せを行ってください。

検認	8	取付板	SPCC(白色)	1	t=1.2mm	MILCO.S ワイヤレスタイプ コンセント式壁付 コントローラ
岩坪	7	無線アドレススイッチ	PPS	1	8極	
	6	通信線端子台	66ナイロン	1	4極	
照査	5	電源端子台	PP	1	V-0	形名 MS711S (1/7)
前田	4	無線アドレススイッチ用カバー	PC+ABS	1	ホワイト（無線アドレススイッチ用）	消費電力 2W
	3	電源線・通信線用カバー	PC+ABS	1	ホワイト（電源線・通信線用）	
設計・改定	2	表面パネル	PC	1	クリア	質量 約0.7kg
柴田	1	ケース(表・裏)	PC+ABS	1	ホワイト	図番 EY22979-E
	品番	品名	材料	数	備考	

適合接続電線

項目	線種	総配線長
電源線	VVF2 Φ1.6,2.0mm	-
通信線	CPEV,FCPEV Φ0.9,1.2mm 1P	100m以内

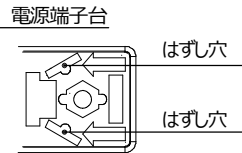
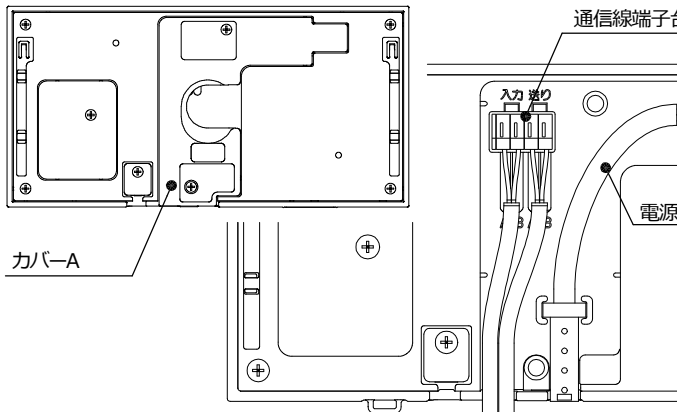
電源は、専用回路とし、常時通電でご使用ください。照明器具の電源回路と、別回路としてください。



電源線の接続について

A 電源コードを使用して接続する場合

電源コードのコンセント用プラグを、電源コンセントに接続してください。
電源コードのコンセント用プラグが抜けないように、コンセントの根本まで確実に接続してください。

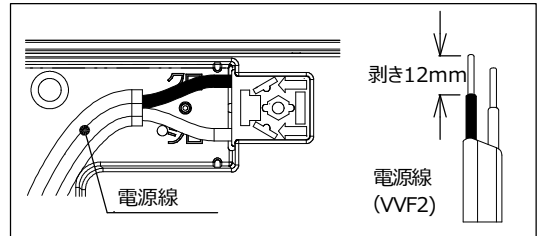


警告

電源線は剥き線部分が外に出ないように確実に差し込んでください。
また、差し込んだ後には線を軽く引っ張り十分に差し込まれていることを確認してください。
(差し込み不十分は、接続不良により、感電、火災の原因になります。)

B 壁からの配線で電源線 (VVF2)を使用する場合

- 以下の手順で、電源線を入れ替えてください。
- 本体裏のカバーAのネジを回して、カバーAを取外す。
 - 電源端子台のはずし穴にマイナスドライバーを差し込み、電源コードを取外す。
 - 壁から配線されている電源線 (VVF2) を、電源端子台に差し込む。
 - 本体裏のカバーAの中央穴から電源線 (VVF2) を出して取付け、ネジを回して止める。



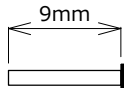
※ 電源線を使用する場合、電気工事士の資格が必要です。必ず専門の工事業者が施工してください。

通信線の接続について

複数のコントローラや設備インターフェース機器で通信機能を使用する場合は、通信線端子台へ通信線を下記のように接続してください。
本器を単独で使用する場合は、通信線の接続は必要ありません。

- 以下の手順で、通信線を接続してください。
 - 本体裏のカバーAのネジを回して、カバーAを取外す。
 - 以下の接続図に従い通信線端子台に通信線を接続する。
 - 通信線は剥き部分が外に出ないように通信線端子台に確実に差し込んでください。
 - 差し込んだ後には線を軽く引っ張り、十分に差し込まれていることを確認してください。
 - 本体裏のカバーAを取付け、ネジを回して止める。

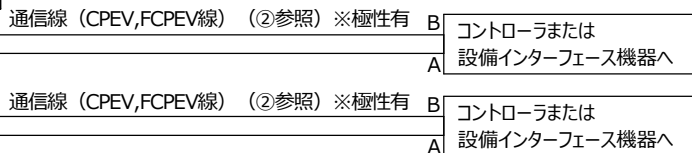
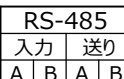
■ 剥き長さは下記に従ってください。
剥き長さ：9mm



■ 通信線は動力線・高圧線との近接や束線を行わないでください。
また、通信線と動力線・高圧線が平行する時の離隔距離は下表に従ってください。

平行する動力線、高圧線条件	離隔距離
600V以下の低圧動力線	300mm以上
その他の高圧線	600mm以上

通信線端子台



検認
岩坪
照査
柴田
設計・改定
西尾

② 複数のコントローラおよび設備インターフェース機器を接続する場合
通信端子台のRS-485「A」「B」は、極性を間違えずに「A」⇔「A」、「B」⇔「B」と送り配線をしてください。
(※通信線の配線は、必ず送り配線とし、分岐配線は行わないでください。
通信が不安定になる場合があります。)

MILCO.S ワイヤレスタイプ
コンセント式壁付コントローラ

適合接続電線
電源線の接続について
通信線の接続について

形名	MS711S (2/7)
図番	EY25878-D

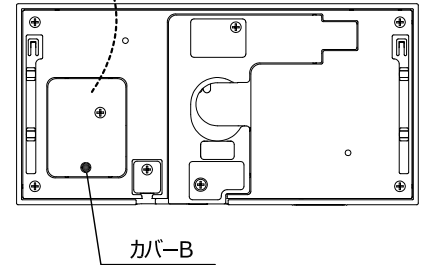
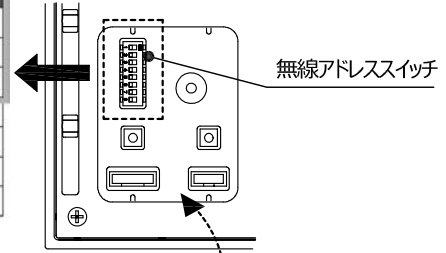
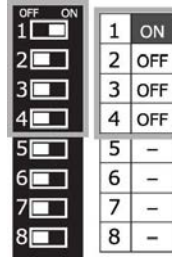
無線アドレススイッチの設定について

以下の手順で、無線アドレススイッチの設定をしてください。

- 本体裏のカバーBのネジを回して、カバーBを取外す。
- 無線アドレススイッチを設定する。
- 本体裏カバーBを取付け、ネジを回して止める。

無線アドレススイッチの1～7について

無線アドレススイッチの1～4を使用して無線アドレスの設定を行います。
無線アドレススイッチの5～7は未使用です。
無線アドレスは以下の通り「無線アドレス1」～「無線アドレス10」を設定してください。
無線アドレスは無線アドレススイッチのONした数字の和の値になります。
工場出荷時は『無線アドレス1』です。



無線アドレス 1	無線アドレス 2	無線アドレス 3	無線アドレス 4	無線アドレス 5
1 ON, 2 OFF, 3 OFF, 4 OFF	1 OFF, 2 ON, 3 OFF, 4 OFF	1 OFF, 2 OFF, 3 ON, 4 OFF	1 OFF, 2 OFF, 3 OFF, 4 ON	1 ON, 2 OFF, 3 OFF, 4 ON
無線アドレス 6	無線アドレス 7	無線アドレス 8	無線アドレス 9	無線アドレス 10
1 OFF, 2 ON, 3 OFF, 4 ON	1 OFF, 2 OFF, 3 ON, 4 ON	1 ON, 2 OFF, 3 ON, 4 ON	1 OFF, 2 ON, 3 ON, 4 ON	1 ON, 2 ON, 3 ON, 4 ON

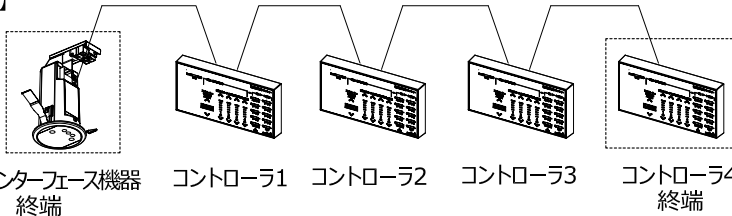
※『無線アドレス0』（オールOFF）は、無線アドレスが設定されていませんので、必ず1～10の無線アドレスを設定してください。

無線アドレススイッチの8（終端スイッチ）について

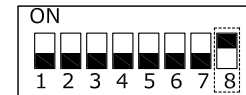
本器の終端処理を行います。

- 複数のコントローラまたは、設備インターフェース機器を通信線で接続して使用する場合は、両端になる2台それぞれにて、終端処理を行ってください。
- コンセント式壁付コントローラ単体で使用する場合は終端処理を行う必要はありません。

【配線例】



終端処理を行わない場合、または、分岐配線を行った場合は、通信が不安定になる場合があります。通信線の配線は、必ず送り配線とし、終端処理を確実に行ってください。



- コンセント式壁付コントローラの終端処理方法は、無線アドレススイッチの8を「ON」にしてください。
- その他のコントローラ、設備インターフェース機器の終端処理の方法については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

システムIDの設定について

本器の初期設定・取付け後、電源投入時は「システムID」の設定を必ず行って下さい。
（「無線アドレス番号」の設定と、「システムID」の設定の双方を行う必要があります。）

「無線アドレス」の番号設定について（上記参照）

- 本器で制御する適合照明器具は、本器と同じアドレスにして下さい。
- 本器の無線アドレススイッチで「無線アドレス」を設定し、取付けて下さい。
 - 適合照明器具に取付ける無線調光ユニットの無線アドレススイッチで「無線アドレス」を設定して下さい。
- また、回路設定も行ってください。

「システムID」の設定について

設定対象の本器と制御する適合照明器具は必ず電源を入れた状態で「システムID」を設定して下さい。
「システムID」の設定はコンセント式壁付コントローラの取扱説明書をご覧ください。
無線通信範囲内に同じ無線アドレス番号がある場合は、設定対象外の適合照明器具の電源は切して下さい。

※ 「システムID」の設定を一度設定した後、再度設定したい場合は、適合照明器具に内蔵されている無線調光ユニットをリセットして下さい。
（リセット方法は適合照明器具の電源を「切」にし、無線調光ユニットのリセットスイッチを「ON」にしてから適合照明器具の電源を「入」にして下さい。
リセット実施後は必ず適合照明器具の電源を切ってからリセットスイッチを「OFF」にして下さい。）

検認

鈴木

照査

大澤

設計・改定

柴田

MILCO.S ワイヤレスタイプ
コンセント式壁付コントローラ
無線アドレススイッチの設定について
システムIDの設定について

形名 MS711S (3/7)

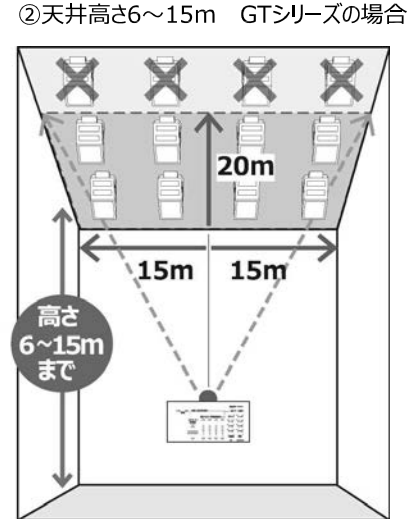
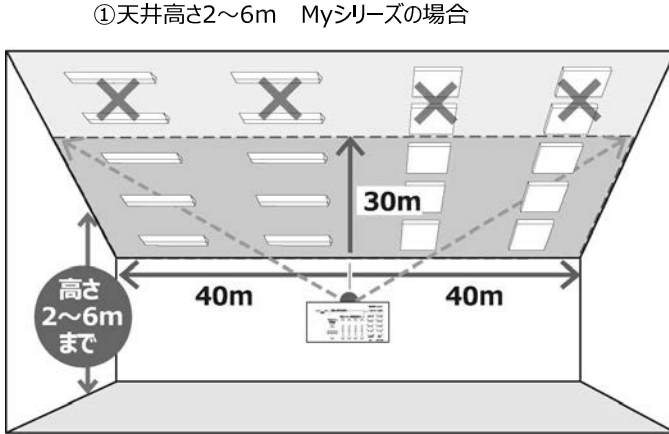
図番 EY25879-C

無線通信範囲について

本器から適合照明まで見通しの良い条件で、下図が無線通信範囲となります。天井の高さと器具の種類により、無線通信範囲が異なりますので、ご注意ください。

- ①天井高さ2～6m、Myシリーズの場合：前方30m × 左右各40m
- ②天井高さ6～15m、GTシリーズの場合：前方20m × 左右各15m

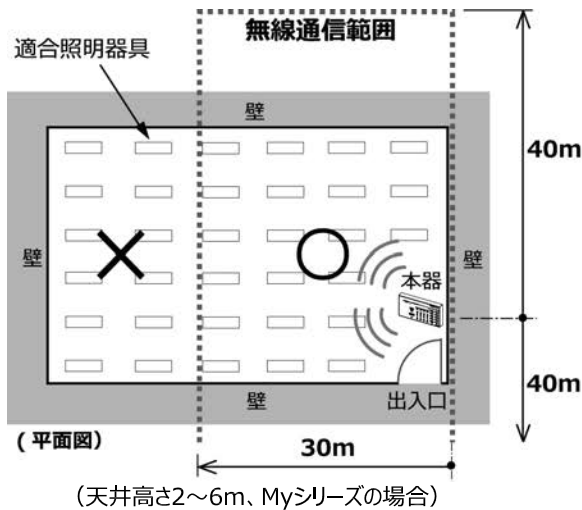
●本器の無線通信範囲内でも、電波の特性により電波が弱くなる箇所が発生することがあります。
 この場合、本器または無線中継器兼PWM変換器（MS406）を追加してください。
 （※無線中継機能を使用できるのは2台まで）



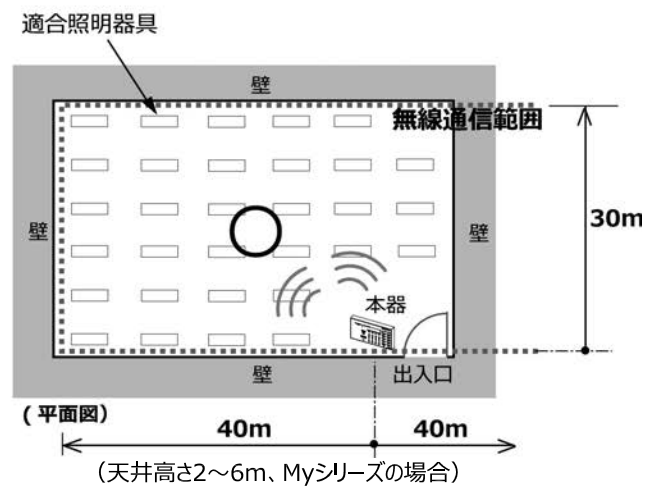
設置位置について

無線通信範囲が長方形ですので、本器の設置方向を十分ご検討した上で設置してください。

a) 設置方向が適切でない場合
 部屋の形状と無線通信範囲が合っていない。



b) 設置方向が適切な場合
 部屋の形状と無線通信範囲が合っている。



検認
 鈴木
 照査
 大澤
 設計・改定
 柴田

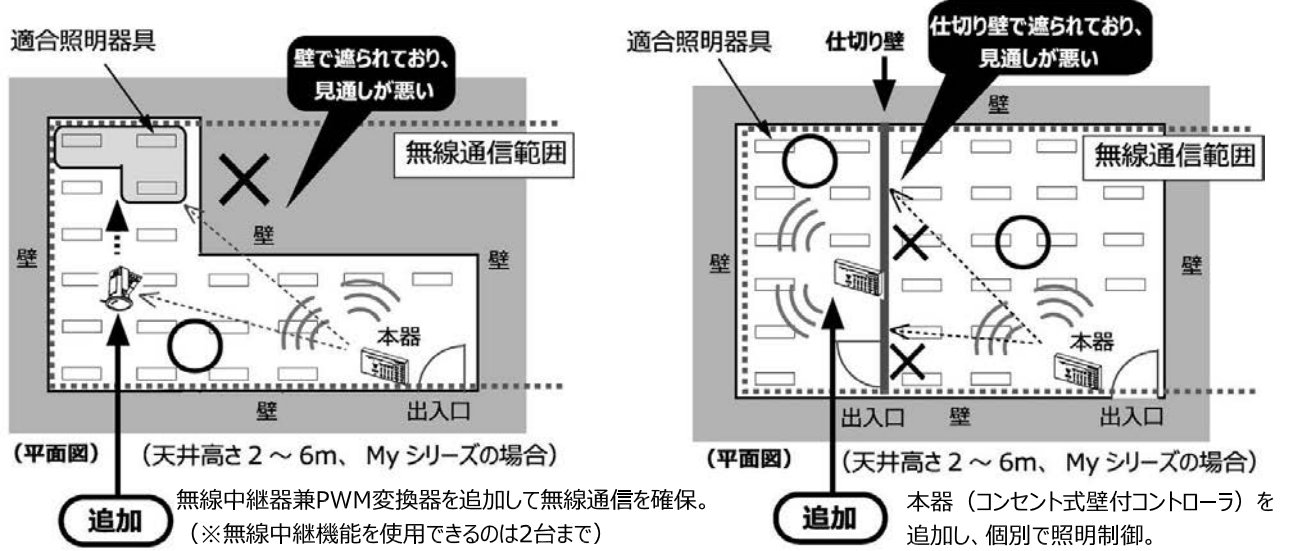
MILCO.S ワイヤレスタイプ
 コンセント式壁付コントローラ
 無線通信範囲について
 設置位置について

形名 MS711S (4/7)
 図番 EY25880-C

本器の設置位置について

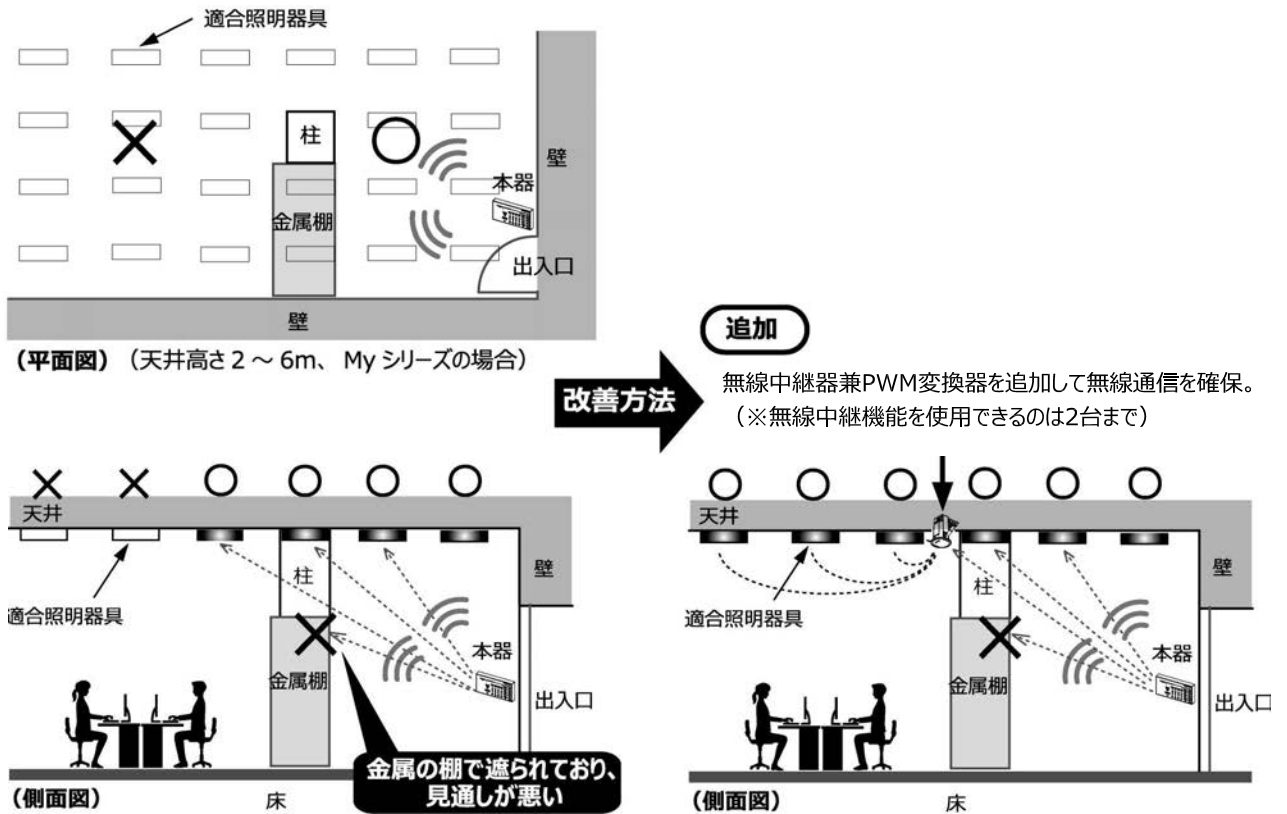
本器から適合照明器具まで見通しの良いことが無線通信の条件となりますので、下記のような使用環境では、無線通信ができない場合があります。設置位置を十分ご検討して上で設置してください。

(1) 本器と適合照明器具間に、金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障害物や障壁がある。



(2) 本器と適合照明器具の周辺が金属物に囲まれている。

(金属物の壁面や金属製の大きい棚などで囲まれている場所や本器を金属板に設置した場合)



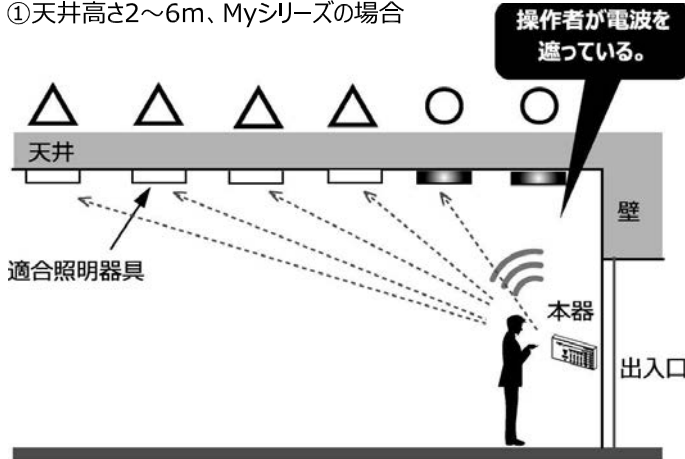
検認
鈴木
照査
大澤
設計・改定
柴田

MILCO.S ワイヤレスタイプ
コンセント式壁付コントローラ
本器の設置位置について

形名	MS711S (5/7)
図番	EY25881-C

(3) 操作する人の位置で電波を遮っている。

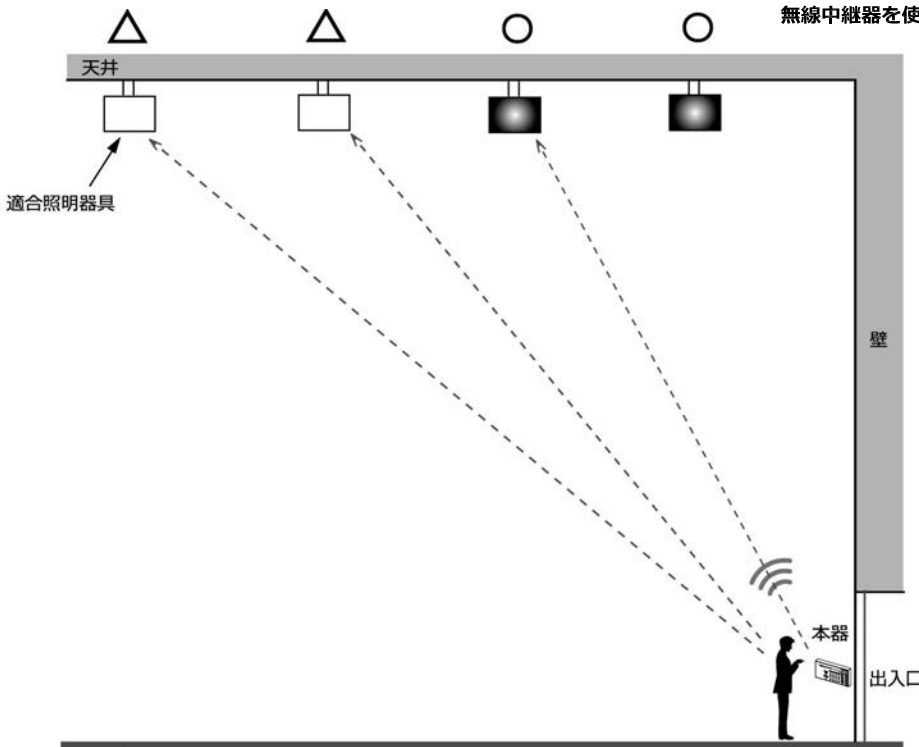
①天井高さ2~6m、Myシリーズの場合



電波で送信するため、操作する位置によっては一時的に動作しない場合や遅延する場合があります。その場合は、時間を置いて操作してください。

(側面図) 床

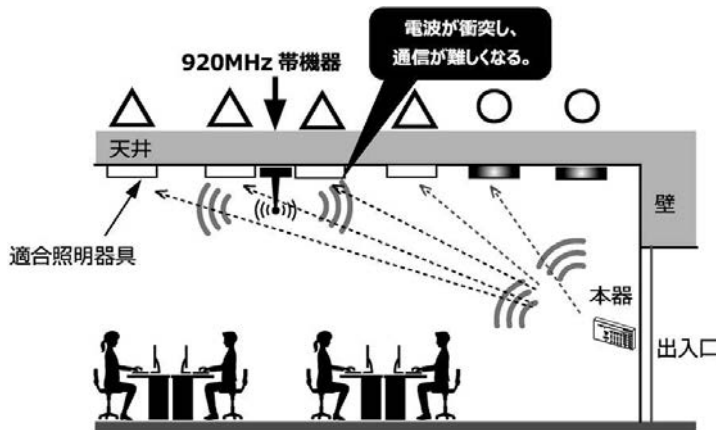
②天井高さ6~15m、GTシリーズの場合



※高天井器具の場合は、操作者が電波を遮らない箇所に、無線中継器を使用することを推奨します。

(側面図) 床

(4) 同じ周波数(920MHz)を使用するシステムが付近に設置されている。



(側面図) 床
(天井高さ 2 ~ 6m、My シリーズの場合)

検認
鈴木
照査
大澤
設計・改定
柴田

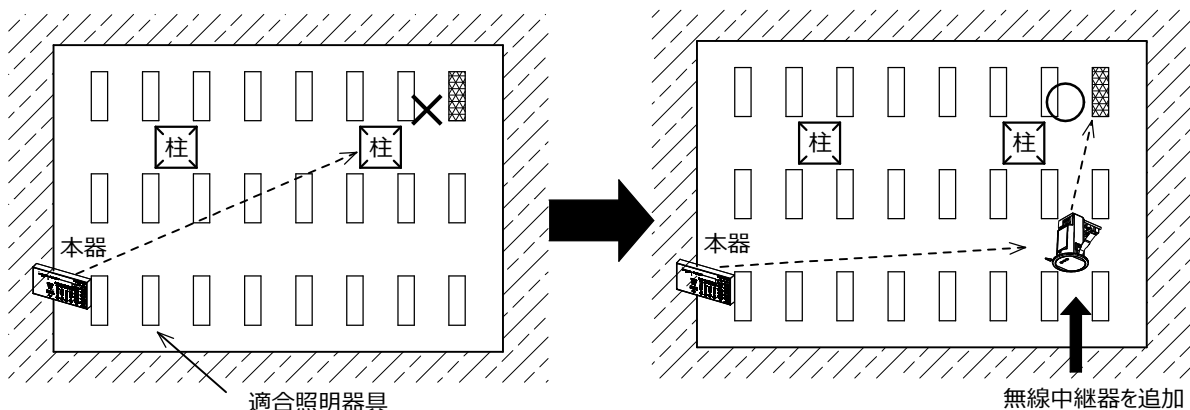
MILCO.S ワイヤレスタイプ
コンセント式壁付コントローラ
本器の設置位置について

形名	MS711S (6/7)
図番	EY25883-A

ご使用上の注意

- 本器で制御する照明器具は必ずMILCO.Sワイヤレスタイプ適合照明器具をご使用ください。
- 屋内専用機器となっておりますので必ず屋内でご使用ください。
ただし湿気の多い場所や、雨水のかかる場所に設置すると、故障の原因になります。
- 無線信号送信の特性上、フェード機能による調光変化が連続したものとならず、段階的な変化となります。
ホテル、宴会場などの演出用途の調光にフェード機能を使用することは、お薦めしません。
- 電源は、照明制御専用回路とし、常時通電でご使用ください。照明器具の電源回路と、別回路としてください。
- 電源が切れていることを確認してから、電源線・通信線等を接続してください。
- 内部に電子部品を使用していますので、落としたり衝撃を与えると故障の原因になります。
- 本器に水や殺虫剤等の化学薬品を直接かけないようにしてください。誤動作や故障の原因になります。
- 特定小電力無線設備として技術基準適合証明を受けた部品が内蔵されています。
内蔵している部品の分解、改造は、法律で禁じられています。分解、改造はしないでください。
- 日本国内専用ですので、国外では使用できません。EMCの国際規格であるCISPR規格には、適合していません。
- 設置位置の注意事項
 - ① 本器と適合照明器具の設置位置の目安として、見通しの良い条件で本器の無線通信範囲に適合照明器具が入るようにしてください。
 - ② 本器と適合照明器具は50cm以上離して設置してください。
 - ③ 本器の無線通信範囲以内でも、電波の特性により電波が弱くなる箇所が発生することがありますので、その場合は、本器または無線中継器兼PWM変換器（MS406）を追加してください。（下記【図1：設置例】参照）
 - ④ 電波で送信するため、周囲の環境や位置によっては一時的に動作しない場合や遅延する場合がありますので、その場合は、時間を置いて操作してください。
 - ⑤ 下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。
このような場合操作できないことがありますので、ご注意ください。
 - a. 本器と適合照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障害物や障壁がある。
 - b. 本器と適合照明器具の周辺が金属物に囲まれている。
（金属物の壁面や金属製の大きい棚などで囲まれている場所や本器を金属板に設置した場合）
 - c. 操作する人の位置で電波を遮っている。
 - d. 同じ周波数帯（920MHz）を使用するシステムが付近に設置されている。
 - e. 本器または適合照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモータなどの機器が動作している。
 - f. 本器または適合照明器具の近く（10m以内）で、マイクロ波発生器を使用している。
 - g. テレビ、ラジオの送信所周辺の強電界地域や各種無線局が近くにある。
 - ⑥ 設置完了後、内装変更など什器の位置を移動しますと電波環境が変化しますので、制御できなくなる場合があります。

【図1：設置例】



検認
岩坪
照査
柴田
設計・改定
西尾

●設定されている年月日/曜日/時刻はコントローラリセットしても、リセットされません。電源が切られている場合はコントローラ内蔵の時計がリセットされます。ただし、瞬時停電ではコントローラ内蔵の時計はリセットされません。コントローラ内蔵の時計がリセットされると、初期値の「2017年7月21日（金）00時00分」の状態に戻りますので、復電後にワイヤレスリモコン（MS213）等で、日時設定（コントローラ時刻合せ）を実施してください。

MILCO.S ワイヤレスタイプ
コンセント式壁付コントローラ

ご使用上の注意

形名	MS711S (7/7)
図番	EY25882-E